

緑・水・大気・ごみと資源・エネルギー・ひと

おうめ環境ニュース vol.17



おうめ環境ニュース(令和7年3月15日発行)

発行:青梅市環境政策課/おうめ環境市民会議

所在地:東京都青梅市東青梅1-11-1

電話:0428-22-1111(内線2536・2537)

1面:青梅にすむ野鳥たち

2~3面:知っておきたい環境問題:大切にしたい日本の自然環境と生活文化 基調講演:東京で唯一の炭鉱!が青梅にあったお話

4面:外来種について考えよう

トビ

タカ目タカ科 留鳥
体長:オス60cm、メス70cm



翼を開くと160cmにもなる大型のタカ。全身が濃い褐色で翼の内側に白い帯が走っている。飛んでいる時には尾羽が三角形に見えるのが特徴。海岸に多く、河川でも生息します。大きな翼を活かし上昇気流に乗ってあまり羽ばたかずに上空から餌を探して「ピー〜ヒョロ・ロ・ロ…」と特徴的な声を響かせます。他のタカ類と異なり、生きたネズミ・カエル・小鳥を襲うのは稀で、死骸や残飯、ゴミなどを食べる掃除屋のため、「トンビがタカを産む」など、どこにでもいる平凡な親から優れた子が生まれる例えのように二流扱いされてきました。狙う獲物が共通しているカラスとよくケンカをします。視力が良く、人が手に持っている食べ物を、上空から狙いを定め、素早く奪い取り急上昇するハンターとしての巧みさがあるので要注意!

【写真: 神山利文氏】 令和2年12月撮影。

青梅にすむ野鳥たち



イソヒヨドリ

スズメ目ヒタキ科 留鳥(北海道では夏鳥)
体長:23cm前後

オスは頭から胸、背、腰までがコバルトブルーと腹は赤茶色、翼と尾は黒っぽい。メスは全体が灰褐色で、背は腹よりも黒っぽく、鱗状の模様が沢山あります。海岸の磯や崖、堤防などに住み、北日本では冬に暖地に移動。15年ほど前から内陸部に進出して繁殖を成功させています。繁殖期の春になると、「ピーツツピーピー」「ピュルピュルピーポー」と複雑な旋律で美しくさえずります。青梅駅、東青梅駅、河辺駅、日向和田駅、二俣尾駅など駅前周辺で営巣しています。駅前が人気なのは、高い建物からさえずるとよく響くからです。人間の生活圏内で繁殖することも多く、5月初旬に産卵し、夫婦で子育てをします。繁殖期以外は1羽で生活し、人が近くにいてもあまり気にしないようで身近に観察できます。餌を捕らえて食べる時には降りてきて、地上で昆虫などを食べます。

【写真: 神山利文氏】 令和2年4月撮影。

環境月間のパネル展示



おうめ環境フェスタ2025開催予定

おうめ環境フェスタは、自然と共生するくらしの提案や、環境活動に関わる人々のネットワークづくりを目的として開催しています。

今年も6月の環境月間中に、市役所1階ロビーで環境保全団体のパネル展示を行うほか、「おうめ環境マップ」のリニューアルに伴う掲載団体・法人の追加募集、講演会の開催を予定しています。

詳細は、今後の広報おうめなどでお知らせしていきます。ぜひ、ご参加ください!



「おうめ環境マップ」市役所で配布しています



し かんきょうもんだい たいせつ にほん しぜんかんきょう せいかつぶんか 知っておきたい環境問題 大切にしたい日本の自然環境と生活文化

わす 忘れかけている自然と共存する生き方

日本の自然の特徴
 「雨が多い気候」「国土の約7割が山」
 「山が樹木で覆われている」
 「木や草が表土流失や洪水を防いでいる」

「苔が育む命」
 苔が貯えた水分が種の発芽を助けます

「水と空気と微生物の関係」
 「多様な樹木が作る好循環」
 雨や陽の光を和らげ、樹下に種やかな環境をつくり、多様な生き物のすみかとなります。根が地中に伸び、水と空気の通り道ができます。

「落ち葉や腐食が多い土」
 土の中を水や空気が移動できることで、植物の根が良く育ち、樹木が健康な状態を保つ。

「清らかな湧水」
 沢井 岩清水(小澤湧造)

「動物の体内には細菌がいる」
 動物の腸の中にはたくさんの菌がすみ、食べた物を分解し、体に吸収できるかたちに変化させています。吸収されなかったものが排泄され、更に土や水の中の微生物のエサとなり分解され、土に還ります。

「日本人は縄文時代から1万年以上の間、水源や自然の恵みを大切にしながら生活してきた。」
 青梅市岩蔵地区の「大岩」
 古くから信仰され、縄文時代の住居跡も付近から見つかっています。

「身近な自然の変化を和歌や俳句に詠み共感する」
 「虫の音色に情緒を感じる」
 「自然を肌で感じる住まい」
 木と土の家・畳・縁側・障子
 そして縁側でお月見などして自然に親しんできました。

山が水を貯える
 雨が木や草や落ち葉などの上に降り、表土を流れず土の中深くまで浸透し、時間をかけてたくさんの水脈から川に合流していきま

「山から水が湧き出す谷津」
 永山丘陵

「ホタルの生育に適した環境」
 ●流れのゆるやかな小川
 ●岸辺にやわらかい土がある
 ●草むらや木陰が多い
 ●ホタルの幼虫の餌となるカワニナの餌(落ち葉や野菜屑など)が多い

ホタルは羽化して成虫になると餌を捕らさず一週間ほどの間に交尾・産卵して一生を終えます。「小さくてはかなげな光(命)」に人は心を寄せてきました。

ごはんを食べるとき「いただきます」や「ごちそうさま」と自然の恵みに感謝する

「日本の気候風土に適した作物」
 ・お米・大豆・そば・大根・お茶
 農地の約半分は主に火山灰と腐植からなる「黒ボク土」で、肥沃ではないがそばやお茶に適している。大根は雨の多い日本で肥大化した。

「伝統的な和食」
 酵素や食物繊維を多く取り入れ、腸内環境を改善し免疫力を高める。

「発酵食品」
 (食物を菌が分解し人の体に吸収されやすくなる)

・みそ 米や麦を分解する麹菌などを利用
 ・納豆 穀物の茎を分解する枯草菌を利用
 ・漬物 野菜に付いている乳酸菌を利用

山に降った雨水が地中を通る間に浄化されおいしい湧き水となります。

石灰岩(建物や道路をつくるコンクリートなどの原料)
 大昔のサンゴや貝が蓄積し、地殻変動によって内陸部に残されたものと考えられています。

石炭
 大昔の植物が枯死した後、湿地や湖底などの酸素が薄く菌類に分解されない状態で残り、地殻変動などで高い圧力を受けて固まったものと考えられています。

「人が入ることで維持される里山の自然」
 雨水を貯え、水生昆虫・カエル、またそれを餌とする野鳥など、生物多様性を保つ役割を果たしてきました。

「樹木の間伐と草刈りでカタクリ群生地を維持しています」
 今寺天皇塚水田

「水田が守りはぐくむ環境」
 雨水を貯え、水生昆虫・カエル、またそれを餌とする野鳥など、生物多様性を保つ役割を果たしてきました。

お米由来の麹菌は日本の「国産」です。
 【写真提供】
 青梅の地域情報サイト OMEGACOTT

「海の生き物は川によって運ばれる陸の栄養に支えられている」
 生き物に必要な塩分・鉄分などのミネラルは川から運ばれてくる

「生の魚や海藻を食べる」
 おさしみ・海苔・ワカメ・昆布・ヒジキ・寒天

「海の生き物は川によって運ばれる陸の栄養に支えられている」
 生き物に必要な塩分・鉄分などのミネラルは川から運ばれてくる

「東京炭鉱跡地の現状」
 「東京炭鉱跡地の現状」
 作業跡地には昭和50年頃まで管理事務所が残っていましたが、今は新しい住宅と広い草地が広がっています。南側に黒沢川が流れ、川を渡った所に採掘するための深さ20m程の穴が残っています。これを20m位まで掘り下げ、図のように南西方向へ山裾を水平に総長500m掘り進めています。当時の鉱区は約200m x 200mの広大な面積がありました。

※危ないの、立ち入らないうでください。

採掘した埋炭、泥炭の搬出方法
 採掘坑内にレールを敷いて、台車に乗せて採掘用の穴の深いところまで運び、エレベータのように巻き上げて地上に搬出しました。その後、ワイヤーを使って低地に下ろし、そこにある作業場で天日乾燥をした後粉砕し、袋詰めしたものをトラックで販売先へ運搬していました。

稼働時の概要
 ○地質 鉱床・秩父系正片層に介在の低炭層500カロリー以下の木質炭成および泥炭層
 ○鉱量 24万トン埋蔵と予測
 ○月産採炭 昭和30年頃350〜400トン
 ※昭和31年の採掘権者(大和炭業株式会社)発行の概要書による。

昭和35年に閉山された「東京炭鉱」
 海外から石炭石油が安く大量に輸入されたことや、化学肥料が普及したことで、需要が減少し閉山となりました。

炭鉱跡地は「どこ」にあるか
 会場の音でが最も知りたかった「どこ」です。場所は小曾木街道の「新岩蔵大橋信号」のすぐ近くです。「東京炭鉱」(「東京炭坑前」)のバス停留所が二つ並んでいます。

「東京炭鉱跡地の現状」
 「東京炭鉱跡地の現状」
 作業跡地には昭和50年頃まで管理事務所が残っていましたが、今は新しい住宅と広い草地が広がっています。南側に黒沢川が流れ、川を渡った所に採掘するための深さ20m程の穴が残っています。これを20m位まで掘り下げ、図のように南西方向へ山裾を水平に総長500m掘り進めています。当時の鉱区は約200m x 200mの広大な面積がありました。

※危ないの、立ち入らないうでください。

「東京炭鉱」を書くことになったきっかけ
 昭和48年、小曾木地域では青梅市立第七小学校の百周年記念事業として小曾木近代誌という歴史書を作ることとなり、川鍋さんが作成者の一人になりました。川鍋さんは子供のころから附近で炭鉱を見ながら育ちましたが、その当時の様子や閉山後の沿革を書いた歴史書が無かったため、本を執筆することにしました。本を書くための資料を探し、炭鉱跡地に残っていた管理事務所に行ったところ、当時の職員の方が住まわれ、資料を一人で保管されておりました。川鍋さんがその方に資料がほしいと熱心に交渉したところ、その熱意に動かされ、在庫資料をいただけることになり、炭鉱を三すず唯一の記録を手に入れることができました。

坑内外連絡路 幅員約3.5m

「東京炭鉱」を書くことになったきっかけ
 昭和48年、小曾木地域では青梅市立第七小学校の百周年記念事業として小曾木近代誌という歴史書を作ることとなり、川鍋さんが作成者の一人になりました。川鍋さんは子供のころから附近で炭鉱を見ながら育ちましたが、その当時の様子や閉山後の沿革を書いた歴史書が無かったため、本を執筆することにしました。本を書くための資料を探し、炭鉱跡地に残っていた管理事務所に行ったところ、当時の職員の方が住まわれ、資料を一人で保管されておりました。川鍋さんがその方に資料がほしいと熱心に交渉したところ、その熱意に動かされ、在庫資料をいただけることになり、炭鉱を三すず唯一の記録を手に入れることができました。

おうめ環境フェスタ2024基調講演
「東京で唯一の炭鉱!」
が青梅にあったお話!

11月24日 講演内容より
 講師 川鍋 幸三郎氏
 (元文化財保護指導員)

がいらいしゅ かんが 外来種について考えよう

がいらいしゅ なに 外来種って何？

にんげん かつどう せいそく ばしょ も こ
人間の活動によって、それまで生息していなかった場所に持ち込
まれた動植物などのことです。反対に、もともとその地域にいる
生物は在来種と呼ばれます。

えいきょう どんな影響があるの？

おお わ しゅるい えいきょう かもうせい
大きく分けて3種類の影響をもたらす可能性があります。

- せいいたいけい えいきょう
生態系への影響
えさ せいかつ ば かくほ ざいらいしゅ きょうそう お せいいたいけい
餌や生活の場の確保で在来種と競争が起こり、生態系のバラ
ンスが崩れてしまいます。
 - ひと せいめい しんたい えいきょう
人の生命・身体への影響
どく も がいらいしゅ さ きけん
毒を持つ外来種にかまれたり、刺されたりする危険や、その
ちいき びょうき ひろ かもうせい
地域になかった病気が広まる可能性があります。
 - のうりんすいさんぎょう えいきょう
農林水産業への影響
はんしよくのうりよく たか せいそくすう そうか ほしよくせい つよ
繁殖能力の高さによる生息数の増加や捕食性の強さによ
り、田畑が荒らされたり育てた生き物が食べられたりします。
- ※全ての外来種が問題を起こすわけではありません！



わたし 私たちにできること



ひがい ふせ ひとり げんそく こころ
被害を防ぐため、一人ひとりこの原則を心がけましょう。

がいらいしゅひが いよぼうさんげんそく 外来種被害予防三原則

- 入れない
あくえいきょう およ がいらいしゅ い
悪影響を及ぼすかもしれない外来種を、むやみに「入れない」
- 捨てない
そだ がいらいしゅ めんどう み そと す
育てている外来種はきちんと面倒を見て、外に「捨てない」
- 拡げない
やがい がいらいしゅ ほか ばしょ ひろ
すでに野外にいる外来種を、他の場所に「拡げない」

あくえいきょう およ がいらいしゅ しんにゆう ぶんぶ ひろ
ひとたび、悪影響を及ぼす外来種が侵入し、分布を拡げてし
まうと、その防除には多大な労力とお金がかかります。

がいらいしゅ ひがい よぼう がいらいしゅ しんにゆう
外来種の被害を予防するためには、外来種を侵入させない
ことが最も重要です。

ひとり ただ ちしき も がいらいしゅ かくだい ぼうし
一人ひとりが正しい知識を持って、外来種の拡大を防止する
ために、自宅の近くなど、身近にいる生き物や植物がどこから
やってきたのか調べてみましょう！



おうめ ちゅうい がいらいしゅ 青梅で注意すべき外来種

ナガミヒナゲシ

げんさん しょくぶつ
ナガミヒナゲシはヨーロッパ原産の植物で、
がつ がつころ いろ きれい はな
4月から6月頃にかけてオレンジ色の綺麗な花を
咲かせます。とてもはんしよくりよく たか こたい
繁殖力が高く、1つの個体が
へいじん こ み
平均100個の実をつけることもあり、1つの実から
こほど たね つく さいだい まんつぶ
1,600個程の種が作られることから、最大で15万粒
にもなります。また、ほんしゅ ね は しゅうへん しょくぶつ
本種は根や葉から周辺の植物
せいいく つよ そがい ぶつしつ う だ
の生育を強く阻害する物質が生み出されており、
せいいたいけい あくえいきょう あた しんぱい
生態系に悪影響を与えることが心配されています。
みじゆく しゅし はつが かい か こ か と
未熟な種子からも発芽しますので、開花後の刈り取り
ぶんぶ ひろ くじょ
はかえて分布を広げてしまいます。そのため、駆除
おこな さい はな さ まえ よう じょうたい じき
を行う際には花が咲く前のロゼット葉の状態の時期
くじょ じゅうよう
に駆除することが重要です。



クビアカツヤカミキリ

ようちゅう か
クビアカツヤカミキリは、幼虫がサクラやウメなどバラ科の
じゅもく きせい ないぶ く あ か がいらいしゅ
樹木に寄生し、内部を食い荒らして枯らしてしまう外来種です。

きよねん おうめし はむらし りんせつちてん ひがい かくにん
去年、青梅市と羽村市の隣接地点で被害が確認されました
こんねんど おうめしな い せいちゆう かくにん
が、今年度には、青梅市内でも成虫が確認されました。

せいちゆう たいちよう こうたく くらいろ きょうぶ
成虫の体長は2.5~4cmほどで、光沢のある黒色と胸部の
あかいろ とくちよう ようちゅう じゅもくないぶ く あ き ふん
赤色が特徴です。幼虫は樹木内部を食い荒らし、木くずと糞
ま たいりよう はいしゅつ
が混ざった「フラス」を大量に排出します。

はんしよくりよく たか ほんしゅ ひがい く と はや はつけん
繁殖力が高い本種の被害を食い止めるには、早く発見し
ぼうじょ ふかけつ ほんしゅ おも せいちゆう
防除することが不可欠です。本種と思われる成虫やフラスを
み さい すみ し れんらく ねが
見つけた際には、速やかに市にご連絡をお願いします。



がいらいしゅ ひがい そうか
※外来種であるアライグマ・ハクビシンの被害が増加しており
こま かつ し そうだん
ます。お困りの方は市にご相談ください。



画像引用 東京都環境局、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

ミニコラム げすいどう はなし 下水道のお話

げすいどう ふろ だいでころ
下水道には、お風呂や台所、トイレなど
かてい で おすい げすいしよりじょう あつ
家庭から出る汚水を下水処理場に集め、
じょうか しぜん かえ やくわり あまみず
浄化し自然に帰す役割のほかに、雨水をす
なが まち みず
みやかに流し、街が水びたしにならないよ
やくわり
うにする役割があります。



げすいどう かせん すいしつ ほぜん
下水道によって、河川の水質が保全される
せいかつかんきょう かいぜん かいてき
だけでなく、生活環境が改善され、快適で
えいせいでき まいにち おく
衛生的な毎日が送れるようになります。